

もっと元気

◆精神科訪問診療ご相談下さい◆

〒231-0033

神奈川県横浜市中区長者町 4 丁目 11-7 長者町朝日ビル 702

TEL:045-334-7502/FAX:045-334-7503



今月のお知らせ

皆様にもっと当院を知っていただきたくクリニック通信を発行させていただくことになりました!!その第1弾として理事長の飯田先生にお話を伺います。インタビュアーは地域連携担当の私高橋が務めさせていただきます!!



高橋: 地域連携担当として、地域のケアマネージャー様とお話しすることも多いですが、先日飯田先生が以前に診察されていた患者様のお話を伺うことがありました。既に地方の介護施設に入居されている方ですが、今でもマメにケアマネージャー様に連絡が来るそうで、飯田先生のお話しにもなったそうです。「本当にお世話になった。飯田先生も元気かなあ」と。とても心温まるお話しで聞いている私も嬉しくなりました。

飯田: 私が診ている患者さんの中には 20 年以上前からの関わりがある患者さんもあります。長年心の病に悩まされながらも日常生活を過ごされている患者さんを見ていると、私自身も非常に励まされます。

1989 年にアメリカの精神医療に触れる機会をいただきました。その際に、ニューヨークのセントラルパークにて家を持たずに暮らしている方がたくさんいらっしゃったのですが、「彼らは健康に生きる権利がある (You have a right.)」という考え方を学びました。精神の病気をもちながらも、そのような方々がもっと健康でもっと元気に暮らせる権利があるという考え方です。それが今日の私たちが行っている在宅医療の考え方のベースとなっていると思います。このクリニック通信のタイトルになっている「もっと元気」というビジョンは統括院長の蒲生先生と考えて作ったものですが、全てはここに集約されています。これからも一人でも多くの方を元気にしたいと思っています。

高橋: 飯田先生ありがとうございました!!皆様 10 月号もお楽しみに!!

いきいき健康情報

1日1回、簡単にできる健康チェック

毎日やっていただきたい『体調チェック』と『見つけたら注意しなければいけない症状』をご紹介します。ぜひ参考にしていただき、1日1回ご自身の体調をチェックしてみてくださいね。

手のひらを見る

指の付け根の部分に赤みがないか確認し、もし強い赤みがある場合は「肝硬変症」「慢性肝炎」の可能性があります。また、ブツブツの膿疱ができている場合は「掌蹠膿疱症」という病気の恐れもあります。

首をさわる

のどの両側にある甲状腺が腫れている場合は「甲状腺機能亢進症 (バセドウ病)」の可能性があります。

体表を見る

体表にポツンと血色の点があり、それを起点として筋状の毛細血管が周りを取り巻くような様があった場合、「肝機能障害」が進行している恐れもあるためすぐに医師に相談しましょう。

顔色を見る

顔色が青白ければ「貧血」、黄色が強ければ「黄疸」、赤い場合は「多血症」の疑いがあります。多血症になってしまうと、脳や心臓など命に関わる病気に発展してしまう危険も。

爪を見る

爪が白く変色しているようなら、慢性の「腎臓病」や「糖尿病」の疑い。また、爪のはがれ、ひび割れは「悪性貧血」も考えられます。

白目を確認

白目が黄色く、体表や尿までも黄色い場合は「肝機能障害」も考えられます。

唇をめくる

歯ぐきや口の中の粘膜が黒っぽくなっていたら、副腎皮質障害の「アジソン病」の恐れも。この病気は、元気がわかない、痩せてきたなどの症状も伴います。



